

独立行政法人平和祈念事業特別基金 中期目標(案)・中期計画(素案)の概要

1 中期目標の期間

平成15年10月から平成20年3月までの4年6月間

2 業務運営の効率化に関する事項

- (1) 業務の効率化による経費削減の目標設定
- (2) スタッフ制の導入及び組織のフラット化による運営の合理化・効率化

3 業務の質の向上に関する事項

- (1) 関係者(恩給欠格者、戦後強制抑留者、引揚者)の労苦に関する資料の収集・保管・展示

収集：資料件数の目標設定、対象の拡大

〔資料としては、労苦に関する個人の所蔵品、映画フィルム等の記録、公文書等がある。〕

保管：資料の体系的な整理、適切な保管の実施

展示：平和祈念展示資料館の入館者数の目標設定、アンケートによる要望把握

- (2) 関係者の労苦に関する調査研究

関係者の労苦について調査研究の実施

外国に所在する資料の調査

- (3) 関係者の労苦に関する記録の作成・頒布、講演会の実施等

調査研究成果等のデータベース化の推進、調査研究成果の出版(「平和の礎^{いしづえ}」)

全国各地における講演会、フォーラム等の開催

関係者の労苦を伝える「語り部」の育成

- (4) 書状等の贈呈事業

関係者に対する書状等の贈呈事業の着実な実施

書状等の贈呈までに要する標準期間の目標設定

まだ請求を行っていない関係者への周知

- (5) その他

効果的な広報の実施

ホームページの充実とアクセス数の目標設定

都道府県との連携強化、全国の関係資料館とのネットワーク化の推進

4 財務内容の改善に関する事項

5 その他業務運営に関する重要事項